

# 男子ホッケー日本代表チーム インド遠征

日付	2015年5月5日 19:00~20:20	天候	晴れ
場所	インド・ブバネーショワル	通算結果	日本 1敗1分
試合	第2戦		

## RESULT

Country

日本  
JAPAN

Final	0	-	2
Third Period	0	-	1
Half-time	0	-	1
First Period	0	-	0

Country

インド  
INDIA

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
16	1	高瀬克也(GK)			
✓	3	粥川幸司			
✓	5	塩川直人			
✓	6	三谷元騎			
✓	7	小野知則(C)			
✓	8	北里謙治			
4	9	藤本一平			
✓	11	川上啓			
51	12	黒川大地			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
7	18	膳棚大剛			
✓	23	坂本博紀			
✓	25	和久利裕貴			
4	26	村田和麻			
4	28	星卓			
✓	31	新本優(GK)			
4	32	橘敏郎			
Coach		姜建旭			
Manager		藤原信幸			
UMPIRE		PRAJAPATI DHAVAL (IND)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	2	MOR Pardeep			
✓	3	Rupinder Pal Singh			
✓	5	KHADANGBAM Kothajit Singh			
9	6	SINGH Gurmail			
✓	8	Sardar Singh(C)			
8	9	WALMIKI Yuvraj			
✓	10	Dharamvir Singh	26		
8	12	VOKKALIGA RAMACHANDRA Raghunath			
8	13	Gurbaj Singh			
9	15	SANNUVANDA KUSHALAPPA Uthappa			
✓	16	PARATTU RAVEENDRAN Sreejesh (GK)			
	23	Harjot Singh (GK)			
✓	24	SOWMARPET VITALACHARYA Sunil			
✓	25	Satbir Singh			
✓	26	LAKRA Birendra			
9	29	KANGUJAM Chinglensana Singh			
✓	31	Ramandeep Singh			
✓	32	THIMMAIAH Chandanda Aiyanna Nikkin			
Coach		PAUL VAN ASS			
Manager		SANDEEP SANGWAN			
UMPIRE		RIPUDAMAN SHARMA (IND)			

Team	Minute	Name	Action	Score
IND	27	SANNUVANDA KUSHALAPPA Uthappa	FG	0-1

Team	Minute	Name	Action	Score
IND	48	Dharamvir Singh	FG	0-2

インド遠征第2戦。日本はFWの田中に代わって国際大会初キャップとなる和久利が先発起用され、それ以外は第1戦と同様のメンバーで臨んだ。  
 (第1クォーター)  
 6分インドはレフトからサークルインし中央へ折り返すと、こぼれ球をフリーでシュートするがポストを直撃し得点とはならない。日本は何度かインドのサークルインに成功するものの得点には至らず、0-0で終了。  
 (第2クォーター)  
 22分日本はスピードに乗ったインドの攻撃をサークル外でスライディングから防ぐがPCの判定。しかしこのPCは1番騎の長澤が防ぐ。25分日本は自陣に引いて守りを固めるインドから、スペースでボールを受けた坂本が巧みなドリブルからサークルインするとPCを取得。しかしこのPCの膳棚のドラッグフリックシュートはGK正面で得点ならず。27分インドはレフトからのドリブル突破で日本のDF陣を抜き去ると、中央への折り返しを合わせ先制点を奪う。  
 (第3クォーター)  
 第3クォーターはお互い様子を伺いながらの試合展開となる。両チームカウンターアタックからの攻撃回数が増えるが、両チーム得点を奪うことなく0-1のまま試合は最終クォーターへ。  
 (第4クォーター)  
 日本は47分カウンター攻撃を仕掛けるが、ボールを奪われ、逆にインドのカウンターを喰らってしまう。インドのライトからのクロスボールをサークルトップのFWに受けられると、リバースシュートのリバウンドを拾われ、0-2とされてしまう。55分日本はインドのアウトレットのボールを川上がパスカットし藤本にボールを預けると、リバースシュートからPCを取得。しかしこのPCの北里のドラッグフリックシュートはゴールの枠を捉えきれず、得点を奪うことができない。日本は試合終盤には得点を奪いに行く意識が強くなり過ぎたせい、縦へのボールを簡単に奪われる場面が増え、インドにカウンターアタックから数本のシュートを打たれてしまうが、GK高瀬がこれ以上の追加点を許さない。  
 しかしながら第2戦目は0-2での敗戦となった。

日本	5	シュート数	8	インド
	2	PC数	1	

次戦(第3戦) 5月7日(木) 19:00 ~

記載責任者:男子コーチ 藤原 信幸